

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	数値流体力学(CFD)によるステント留置により治療した脳動脈瘤の予後評価研究		
1. 研究の目的と方法	脳動脈瘤に対する脳血流のシミュレーション結果と診療情報より得られた数値データをステント留置後に血栓化した症例群と血栓化しなかった症例群とに分類した後、両者に差があるのかについて多変量解析等の統計学的な解析を行うことで比較を行います。ステント留置後の血栓化に關与する血行力学的特徴を明らかにし、ステント留による脳血管内治療前に血栓化を予測できるような手法の開発を目指します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年12月2日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関：□附属病院 対象となる方：2002年1月から2020年10月までの間に University Medical Center Goettingen 及び University Hospital Basel に来院し、脳動脈瘤と診断された方で、ステント留置を伴う脳血管内治療を受けられた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、生活習慣、合併疾患、検査結果(画像検査データ)など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録等から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座
		氏名	村山 雄一
	(2) 試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 石橋敏寛	
(3) 共同で研究を実施する機関とその責任者	東京理科大学 工学部 教授 山本誠(機関の長:石川 正俊) University Medical Center Goettingen, Department of Neuroradiology, Deputy Head, Professor, Marios Psychogios (Prof. Dr. med. Christian Riedel) University Hospital Basel, Professor of Neuroradiology, Marios Psychogios (Prof. Ludwig Kappos, MD)		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付、もしくは、セキュリティのかかったクラウド上にアップロード</p> <p>本研究では、本学において、共同研究機関である東京理科大学の研究者と共同で解析を行いますが、提供された情報を東京理科大学へ提供することはありません。</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>機関名： 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座  研究責任者：教授 村山 雄一（むらやま ゆういち）  窓口担当者：准教授 石橋 敏寛（いしばし としひろ）  電話番号：03-3433-1111（内線 3461）  対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p> <p>研究者の氏名にはフリガナをご記載ください。  研究責任者が窓口担当者を兼ねる場合は、窓口担当者の記載は不要です。  電話番号には、代表番号と内線番号の両方を記載してください。  電話番号の内線番号は医局等の番号を記載ください。  各附属病院でも実施する場合は、各附属病院の窓口担当者と電話番号も列記してください。</p>

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。